

第5回で議論

○流通に関する共通事項

- 固有性の高い既存住宅の需要と供給のマッチングを促進させるには、どのような対応を講ずべきか。
- 様々な既存施策(既存住宅状況調査、安心R住宅、住宅履歴、住宅性能表示、リフォーム団体登録制度、瑕疵保険など)の普及のためにどのような対応が考えられるか。
- 既存住宅に関する施策の検討を進めるため、今後取得していくべきデータとしてどういうものが考えられるか。

○戸建住宅における維持管理の推進

- 戸建住宅における適切な維持管理は、所有者本人に委ねられていることから一定の課題が存在しているが、これを改善するためにはどのように対応していくべきか。
- 特に維持管理(リフォーム等)から除却に至る住宅の生涯の中で、所有者が適切な時期・適切な負担で実施するためには、金融的アプローチを含め、どのような仕組みが考えられるか。

○担い手確保に向けた体制整備

- 大工等の担い手が減少していく中で、壁紙の張り替えや一部の住宅設備の交換など、構造等に影響を及ぼさない範囲の工事の担い手についてどのように考えるべきか。